

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

たくましく生きる力をもち、夢と思いやりのある人間性豊かな浅井北っ子を育成する。

●めざす児童像

よく考え 自ら学ぶ子

- ・よく考え、意欲的に取り組む子
- ・友達との学び合いの中で、生き生きと活動する子

きまり正しく 心豊かな子

- ・生活のマナーを身につけ、きまりを守って友達と協力する子
- ・だれにでも思いやりの心で接し、元気に明るくあいさつする子

健康で たくましい子

- ・健康の大切さを知り、進んで心身を鍛える子
- ・目標をもち、何事にもがんばりぬく子

●めざす学校像「安全・安心で信頼される学校」

- ・学ぶ楽しさを感じる学校
- ・助け合い、居場所のある学校
- ・安全できれいな学校

(2) 経営方針

- ・活気と静けさがあり、個が輝き、集団の中で高め合える学校の実現
 - ・「思いやりの輪を広げる」(優和)「これならできる」(自立)学校の実現
 - ア 教育目標の具現化のため、学び合う教職員集団を目指すとともに、教職員一人一人の持ち味を生かして、活力ある学校づくりに努める。
 - イ 児童一人一人のよさを認め、「確かな学力(知)」「豊かな心(徳)」「健やかな体(体)」をもった児童を育成する。
 - ウ 家庭・地域社会との協力を密にし、「信頼される学校」づくりに努める。
- ◎児童の気持ちに寄り添い、「優しい口調で、確かな指導」を心がける。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 確かな学力の育成

～わかる・できる・身につく・活用できる力を育てる授業の実現～

- ・規律ある授業を作るための環境づくりを基盤とし、「読み・書き・計算」に代表される基礎学力の定着を図る。
- ・グループやペアなど「かかわり」「対話」を生かした授業づくりに心がけ、協働的な学びを充実させて、思考力・判断力・表現力を育成する。
- ・「ふりかえり」活動を大切にし、充実させることで、児童の学習意欲向上と学習内容の確実な定着を図る。
- ・外部講師を活用して現職教育の充実を図り、指導力の向上を目指す。
- ・児童に情報モラルを身につけさせるとともに、必要な情報を活用できる力の育成を図る。
- ・異文化への理解を深める国際理解教育を推進し、外国語教育の充実を図る。

イ 豊かな心の育成

～自分で考え行動することを大切に、互いを認め尊重し合う教育の実現～

- ・学級や学校がどの児童にとっても安心して過ごせる「居場所」となるよう、児童とともに活動の意義や目的を確認し、児童が自己肯定感や充実感を感じられる学校生活の実現を図る。

- ・学級や学校が、「互いの思いやりをつなげ、広げる場」となるよう、様々な集団活動に参画する場を設定し、集団の目的に向け、意見の違いや多様性を認め合いながら成長できる機会の充実を図る
- ・地域で学ぶ体験活動や道徳の時間の充実を図り、社会の一員としての道徳的心情の高揚を図る。
- ・特色ある教育活動である福祉施設訪問活動を中心に据え、福祉実践教室・道徳教育・人権教育などを通じて互いを認め合い尊重し合う心を育む。
- ・読み聞かせや読書週間など本に触れる機会の充実を図り、読書を通して豊かな感性を育む。
- ・共感的な児童理解をもとに相談活動を充実し、全校体制でいじめ・不登校の未然防止に努める。

ウ 健やかな体の育成

～自他ともに、健康で安全な生活を送る実践力が身につく教育の実現～

- ・望ましい生活習慣の定着を図り、健康で安全な生活を送るための基礎を育てる。
- ・運動の楽しさを体験させ体力の向上を図るとともに、食育・健康教育の充実を図り、心身の健康についての正しい知識と実践を身に付けさせる。
- ・危険予知トレーニング（KYT）や多様な想定での避難訓練など安全意識を高める指導を工夫し、安全教育の充実を図る。

エ 信頼される学校づくり

- ・校内現職教育や校外研修を通して、研究と実践を重ね、教師としての指導力・専門性を高める。
- ・学校ウェブサイトの更新に努め、学校の教育活動を公開し、家庭・地域社会からの信頼と協調が得られるように努め、開かれた学校づくりに努める。
- ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進により、小中学校の連携を深め、地域住民や保護者などの学校運営への参画を進め、信頼される学校づくりに努める。
- ・地域と連携を図りながら、安全・安心な学校づくりに努める。
- ・教職員が心身ともに健康で、笑顔で子どもたちと向き合えるよう、多忙化解消に向けて業務改善に努める。